

### 3 市民アンケート

#### (1) 調査概要

○ 調査目的

新たな住宅マスタープランの策定にあたり、市民の住宅や住環境に関する満足度のほか、今後の住まいの意向、函館市が取り組むべき住宅施策の考え方などを把握するために実施しました。

○ 実施時期

令和3(2021)年11月19日(金)～12月3日(金)

○ 調査対象／配布数

無作為で抽出した20歳以上の函館市民／1,700票

○ 調査方法

郵送による配布・回収 ※WEBページを介した回答も併用

○ 回収率

29% (501票)

※令和4(2022)年2月7日までに回収した調査票を集計

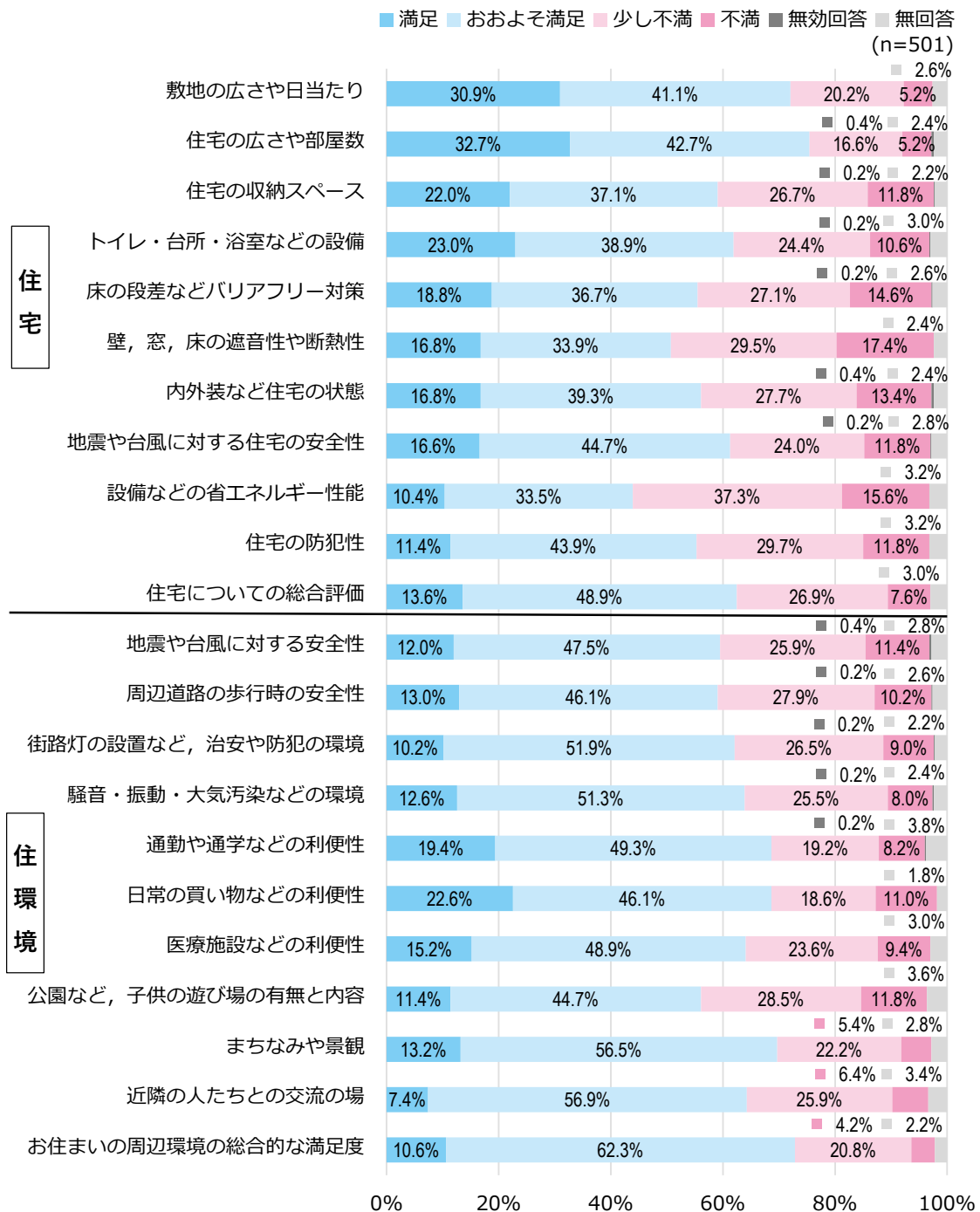
○ 調査結果について

- ・単数回答の質問では、小数第二位以下を四捨五入しているため、表中の内訳を合計しても100%とならない場合があります。
- ・複数回答の質問では、回答者数を母数として回答割合を算出しているため、合計が100%を超える場合があります。
- ・設問に対する回答割合は、回答対象者数を母数とし、無回答、無効回答を含んでおり、グラフ中にn値として示しています。
- ・回答規則（指定数以上の選択肢を回答等）に反するものを、無効回答として集計していません。

(2) 調査結果概要

○ 住宅・住環境の満足度

- ・住宅の満足度は、「敷地の広さや日当たり」、「住宅の広さや部屋数」の満足度が特に高くなっている一方、「設備などの省エネルギー性能」は、他項目と比べ不満足の高割合が特に高くなっています。
- ・住環境の満足度については、「通勤や通学などの利便性」、「日常の買い物などの利便性」、「まちなみや景観」の満足度が特に高くなっている一方、「公園など、子供の遊び場の有無と内容」は他項目と比べ不満足の高割合が高くなっています。



図資-1 住宅・住環境に対する満足度

○ 将来の住まいに対する考え方

- ・現在の住まいについて、住み続けたいと答えた回答者の理由では、「地域や家に対する愛着」、「住宅・土地を所有している」が多くあげられています。
- ・いずれ転居したいと答えた回答者の理由では、「家族構成」の変化が特に多くなっています。

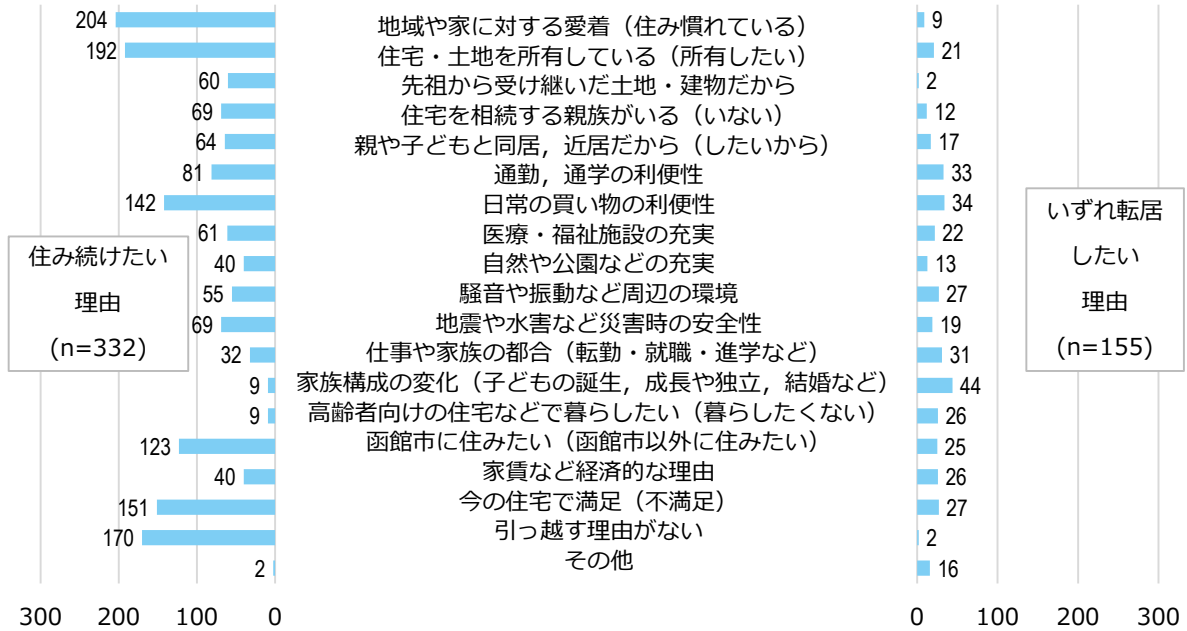


図 資-2 現在の住まいに住み続けたい, または, いずれ転居したいと答えた理由 (住み続けたい回答者, いずれ転居したい回答者)

○ 今後函館市が取り組むべき住宅関連施策

- ・「適切な除排雪の実施など, 冬でも暮らしやすい住環境の推進」が特に多くなっており, 「若者や子育て世帯の定住促進」, 「高齢者や障がい者が安心して暮らすための支援」がこれに続いています。

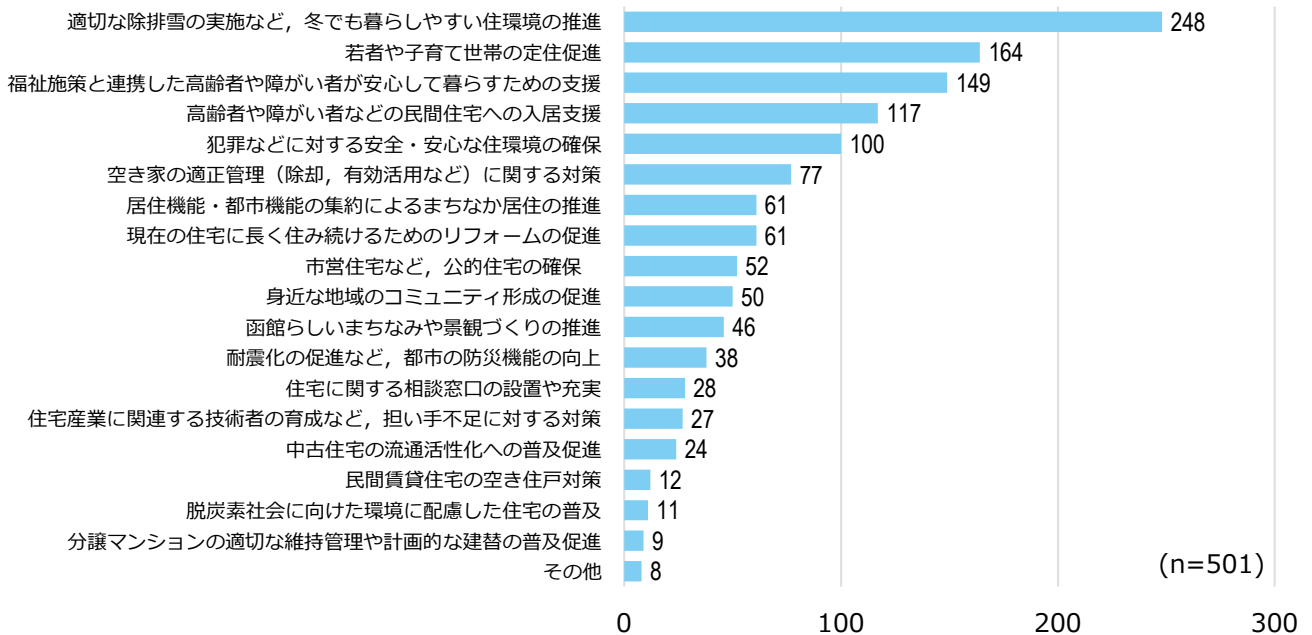


図 資-3 今後函館市が取り組むべき住宅関連施策